

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 サンウエーブ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7993 URL <http://www.sunwave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 昌之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 熊澤 敏男

TEL 03-3518-4317

四半期報告書提出予定日 平成22年2月2日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	59,105	△15.6	1,223	13.3	1,100	5.2	25	△96.2
21年3月期第3四半期	70,059	—	1,080	—	1,046	—	681	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	0.43	—
21年3月期第3四半期	14.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	71,449	34,630	48.5	553.96
21年3月期	66,965	32,432	48.4	674.60

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 34,630百万円 21年3月期 32,432百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	△13.9	700	△29.1	600	△33.5	△575	—	△9.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社 (社名 ) 除外 — 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 62,546,500株 21年3月期 50,396,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 31,641株 21年3月期 2,320,223株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 59,308,663株 21年3月期第3四半期 48,098,425株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年12月14日発表の連結業績予想は修正していません。上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）のわが国の経済は、景気減退局面から若干の持ち直しが見られるものの、企業収益の落ち込みが続き、設備投資の抑制、雇用情勢のさらなる悪化など、引き続き厳しい状況で推移しました。また、新設住宅着工戸数は下げ止まり傾向ではありますが、前年を大きく割り込んで推移しています。

住宅設備機器業界においては、新築需要の低迷が常態化しつつあり、さらには個人消費の低迷によってリフォーム需要も低水準のまま推移していることから、販売環境は非常に厳しい状況が続いています。

こうした経営環境にあつて、当社グループは前期に引き続き「変革への挑戦」の方針のもと収益力の向上に努めてまいりました。収益につながらない業務を徹底的に切り捨て、業務の簡素化・削減を図り、要員計画の見直しなどを含む固定費の大幅な圧縮に努め、売上が減少しても安定した収益が確保できるよう、収益力向上のための諸施策を強力に展開してまいりました。

また、商品面におきましては、今年8月に発売した普及システムキッチン「サンヴァリエ〈アミィ〉」が好評を得ており、シェアアップに貢献しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高591億5百万円（前年同四半期15.6%減）の減収となりました。利益面では、営業利益が12億23百万円（前年同四半期13.3%増）、経常利益が11億円（前年同四半期5.2%増）となりましたが、四半期純利益につきましては、前年同四半期に固定資産の売却益が計上されていたこと、加えて当第3四半期連結累計期間に、保有する有価証券の評価損や固定資産の減損損失の計上等を行った結果25百万円（前年同四半期96.2%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比し44億84百万円増加し、714億49百万円となりました。主たる要因といたしましては、資産の部においては、売上高の減少に伴う受取手形および売掛金の減少が28億69百万円、普通社債の発行や借入金の増加による現金及び預金の増加が83億63百万円あったこと等によります。負債の部においては、短期借入金の減少が50億円、社債（1年内償還予定の社債含む）の増加が41億25千万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加が33億13千万円あったこと等によります。純資産の部においては、第三者割当増資及び自己株式の処分により資本金、資本剰余金がそれぞれ6億99百万円増加しております。

これらの結果、自己資本比率は48.5%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年12月14日に公表しました連結業績予想に変更はございません。

なお、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,567	7,203
受取手形及び売掛金	21,091	23,960
商品及び製品	1,826	1,341
仕掛品	236	315
原材料及び貯蔵品	1,580	1,922
繰延税金資産	176	465
その他	4,446	4,166
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	44,909	39,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,519	6,800
機械装置及び運搬具（純額）	2,520	2,696
土地	9,833	10,096
その他（純額）	757	650
有形固定資産合計	19,631	20,243
無形固定資産		
ソフトウェア	920	1,072
その他	85	162
無形固定資産合計	1,005	1,235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,124	1,093
繰延税金資産	1,411	1,504
その他	3,724	3,995
貸倒引当金	△443	△462
投資その他の資産合計	5,816	6,130
固定資産合計	26,454	27,609
繰延資産		
社債発行費	85	—
繰延資産合計	85	—
資産合計	71,449	66,965

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,889	10,475
短期借入金	—	5,000
1年内償還予定の社債	—	625
1年内返済予定の長期借入金	5,312	5,248
未払法人税等	127	195
賞与引当金	241	611
特別クレーム補償引当金	82	142
関係会社整理損失引当金	59	—
その他	2,597	2,776
流動負債合計	19,309	25,074
固定負債		
社債	6,750	2,000
長期借入金	3,250	—
退職給付引当金	6,633	6,651
役員退職慰労引当金	5	8
製品保証引当金	543	565
その他	327	232
固定負債合計	17,509	9,458
負債合計	36,819	34,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,551	13,852
資本剰余金	13,164	12,464
利益剰余金	6,960	7,054
自己株式	△8	△673
株主資本合計	34,667	32,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13	△125
繰延ヘッジ損益	△23	△140
評価・換算差額等合計	△37	△265
純資産合計	34,630	32,432
負債純資産合計	71,449	66,965

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	70,059	59,105
売上原価	48,236	39,822
売上総利益	21,822	19,283
販売費及び一般管理費	20,742	18,059
営業利益	1,080	1,223
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	93	115
その他	242	167
営業外収益合計	342	285
営業外費用		
支払利息	194	192
売上割引	103	88
その他	78	127
営業外費用合計	376	408
経常利益	1,046	1,100
特別利益		
固定資産売却益	506	—
貸倒引当金戻入額	12	16
特別利益合計	519	16
特別損失		
固定資産除却損	291	53
固定資産売却損	—	17
関係会社出資金評価損	—	14
関係会社整理損	—	14
関係会社整理損失引当金繰入額	—	59
投資有価証券評価損	2	304
ゴルフ会員権評価損	5	—
貸倒引当金繰入額	47	—
減損損失	—	244
特別損失合計	346	708
税金等調整前四半期純利益	1,218	408
法人税、住民税及び事業税	101	96
法人税等調整額	435	286
法人税等合計	536	383
四半期純利益	681	25

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額及び資産の合計額に占める住宅設備関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月19日付で、株式会社住生活グループから第三者割当増資及び自己株式処分の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が14,551百万円、資本準備金が13,051百万円となっております。